

阿武山地震観測所の紹介

機器開発技術グループ 米田 格

去年の6月より2年間お世話になった白浜海象観測所から阿武山地震観測所(写真1)に異動になった。そこで新しい職場である阿武山観測所について簡単に紹介をしたいと思います。

阿武山地震観測所は昭和5年(1930年)に大阪府高槻市に開設され、今日まで約80年間、地震観測、微小地震観測、総合移動観測、また観測所近くにある観測坑道内で地殻変動観測(写真2)など様々な観測やまた高温高压実験(写真3)が行われてきた。



写真1 阿武山観測所



写真2 伸縮計



写真3 重錘式圧縮装置

現在ではこれら観測のデータは地震予知研究センターへと集約されており、阿武山観測所は観測点の1つとなっているが、1995年頃までは微小地震観測の拠点として最先端の観測システム(写真4)などが導入され、データ収録などを行っていた。現在でも当時収録していたデータや、他観測点の古いデータ(一番古いもので約100年前のもの)が観測所内に保管されている。



写真4 微小地震観測システム

またデータ以外にもこれまでの計測に使われていた様々な地震計（写真5、写真6、写真7）が使える状態で観測所内に保管されている。中には日本でも数台しかない、歴史的にも貴重な地震計も存在しており、ときどき見学者なども訪れている。

以上、簡単ではあったが阿武山観測所の紹介とさせていただきます。

ここからは余談だが、阿武山地震観測所では、通勤中など山の四季など（写真8）楽しめる。（地元の方もよく山を散歩されている。）

まだ阿武山観測所勤務になって、春の様子は見ていないのだが、話では桜がとてもきれいだと地元の方に伺った。今から春の訪れを楽しみにしつつ現在も観測所に通勤している。以上余談であった。



写真5 ウィーヘルト地震計



写真6 ガリチン地震計



写真7 佐々式大地震計



写真8 阿武山